



ライフキャリア通信では、進路選択や進路決定の一助となることと共に、卒業後の「豊かな生活」をめざして日々の生活や学びがより一層充実するような情報を発信していきたいと思っております。その一つとして、今年度は高等部の現場実習の様子をお伝えしていきます。初回は高等部3年生です。また、裏面には各学部より進路に関する情報を掲載しております。そちらも併せて御覧ください。なお、他学部のライフキャリア通信は本校ホームページより閲覧できるようになっています。

## 高等部3年生 現場実習まとめ『決める実習』

### Q.そもそも、現場実習ってなに？職場体験のこと？

A.平たく言えば、「高等部卒業後の生活例として、起床から就寝まで（睡眠時間も含め）24時間単位で経験し、それが一定期間（高3は3～10日程度）できる学校行事」でしょうか。

実習で仕事を任される機会もありますが、それが6時間であっても1日の1/4に過ぎません。残り3/4はどうしているのか？も大事。例えば高等部卒業後は、放デイが利用できません。卒業後、本人だけでなく同居する家族の生活がどう変化するのか？どう整えるのか？という「はたらく」以外の部分に対する気付きもねらっています。（比較すると、職場体験は期間が短く、「はたらく（日中活動）」に特化しています。）

\*実習を行うことが目的ではなく、実習のために準備から振り返りまでの一連の流れの中で、様々な成果と課題に気付き、今後に生かすことが現場実習のねらいです。

### Q.高3の『決める実習』の意味は？

A.各学年の主な目的は、高1「知る」→高2「広げる、挑戦する」→高3「決める」。

高3の場合は、本人の「ここで働きたい（又は通いたい）」という気持ちや、保護者の「ここに行ってほしい。」という願いをふまえて実習に臨んでいます。

採用や利用の可否は、実習先が判断します。よって、「決まる」のは結果なので、学校としては生徒一人ひとりの「豊かな生活（自分に合う生活）」について、本人・家庭・学校でイメージを共有したりすり合わせたりしながら、「決める」プロセスを大事にしています。

### Q.高3までに、やっておくべきことは？

A.「実習をちゃんとやる」ではなく、日々の積み重ねが大事。小学部や中学部であっても、例えば「今が充実することで、未来につながっていく」や「今取り組んでいることが、何につながっているのか？」という価値を抱いて行っているなら、将来に向けた学習になっています。（例：規則正しい生活、人との関わり、身だしなみ、係活動やお手伝いのような役割、お小遣いなどなど…。）

